

# 警防活動時及び訓練時における安全管理に係る検討会（第一回）

## 議事概要

### 1 日時

平成22年5月20日（木）14:00～16:00

### 2 場所

全国都市会館 地下一階 会議室

### 3 出席者（50音順、敬称略）

田村 圭子（座長）、秋山 昭二、久保田 幸雄、下條 哲義、清水 良弘、月成 幸治  
内藤 恵、中村 照世志、小坪 博（野原委員 代理）、横島 和美

### 4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 座長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 議事
  - ① 消防における安全管理体制について
  - ② 現状と課題について
  - ③ これまでの消防庁の取り組み
  - ④ 組織の安全管理体制の検証及び警防活動時等における安全管理マニュアルの見直し手順について
- (5) 今後のスケジュール等について
- (6) 閉会

### 5 議事の経過

- 冒頭、消防庁次長の株丹より挨拶、つづいて田村座長から挨拶。
- 田村座長の指名により、久保田委員が座長代理に選任。
- 事務局から、議事について（「消防における安全管理体制」、「現状と課題」、「これまでの消防庁の取り組み」、「組織の安全管理体制の検証及び警防活動時における安全管理マニュアルの見直し手順」）説明。
- 事務局からの説明後、資料についての質問や今後の検討会の進め方、論点、検討課題等についてフリーディスカッションを実施。委員の主な意見は次のとおり。

（フリーディスカッション）

#### ○各本部における安全管理の取り組み

- ・消防庁の示したマニュアルの簡素化や必要な部分のみを細分化して活用。
- ・消防庁の示したマニュアルに代わるものとして、消防活動基準などを整備。
- ・消防庁が示したマニュアル以外は、（安全管理について）特段定めていない。
- ・衛生、安全管理規程は整備済みだが、職員がどれだけ理解できているか不明。
- ・衛生、安全管理規程の下に、警防活動時・訓練時の安全要綱を設置。

### ○組織の安全管理体制

- ・安全管理規程（案）は、労働安全衛生法に準じて設けているのか。
- ・どのような経緯があつて、安全管理規程（案）が制定されたのか。

### ○技術伝承の問題

- ・消防庁のマニュアルに記載されている内容は、（年配職員には）安全管理上当然のことであるが、若い職員には認識されていない。
- ・新しい資機材があつても、発展した経緯を理解していないので、原点に立ち返ることができない。
- ・若い職員のみならず、中間層のモチベーションの低下もある。中間層に対する安全管理の再教育も必要ではないか。

### ○マニュアルの見直し案等

- ・航空隊、水難隊など危険度が高いものが増えているので項目に追加してはどうか。
- ・消防車両の特殊性を考えて、マニュアルに機関員からの視点を追加してはどうか。
- ・現状のマニュアルは、管理者、部隊、隊員それぞれの活動が網羅的に記載されているが、それぞれの視点に立った構成にしてはどうか。
- ・事例を蓄積、データベース化し、そのデータを反映させるようなシステムも必要なのではないか。
- ・現状のマニュアルは、安全管理上当然必要なものから、かなり踏み込んだ内容まで記載されているが、どこまで記載する必要があるのか。対応する範囲の検討が必要ではないか。
- ・事故の頻度、リスク、死傷者を踏まえ、影響の大きさを考慮した上で、盛り込む内容を検討しなければならないのではないか。

### ○消防団関係

- ・生業をもって団活動を行っているので、体系的な安全管理の教育は難しい。横のつながりがあまりないので、先進的な事例を照会するなどして情報を提供して欲しい。
- ・マニュアルを検証するにあたり、消防職員と消防団員との違いは、検討課題として考えなければならないのでは。

### ○公務中の死傷者数について

- ・問題抽出のために、死傷者数だけでなく、どういった状況でどのような負傷を負ったのか等、詳細なデータが必要なのではないか。

### ○アンケートについて

- ・アンケート項目にすべてとは言わないが、いくつかの消防本部の安全管理マニュアルを集めることを盛り込めないか。
- ・消防団の安全管理に対する先進的な取り組みを、収集できないか。

## 6 その他（次回検討会開催日について）

次回の検討会については、開催時期については、別途日程を調整。